



スポーツ高島

発行日/平成 26 年 1 月 1 日

編集・発行/高島町体育協会広報部

NO. 32

第64回 高島ロードレース まほろばマラソン大会 9/15



- 男子
- ▼ハーフマラソン一般 1位 佐藤 寛才
 - ▼10キロ一般 1位 菅原 翼
 - ▼10キロ高校 1位 五十嵐大義
 - ▼5キロ一般 1位 堀江 和臣
 - ▼5キロ高校 1位 田村 健太
- 女子
- ▼ハーフマラソン一般 1位 後藤 京子
 - ▼10キロ一般 1位 田中 幸
 - ▼5キロ一般 1位 尾形 友紀
 - ▼5キロ高校 1位 本間 未来

高島町役場前発着で各種目を行なっていました。あいにくの雨の中のレースと成りました。北京五輪マラソンに出場した佐藤敦之選手が一般10キロにオープン参加しおおいに盛り上がりしました。地元小中学生らが出場した3キロの「まほろばマラソン大会」を含め県内外より約400名の選手が出場しました。

第18回 チーム対抗ロードリレー 88チーム440名 激走 10/14



今年も体育の日に行なわれた。前日までの荒天で、コンディションが心配されましたが当日は、さすがが暑い天気の中、前年より減ったものの88チームの選手が中央公園と高安を回るコースをそれぞれのペースで走り抜けました。芋煮会前の恒例行事となっていて、ところどころ多くみんさん楽しみにして参加いただいています。さわやかな汗を流して、一日楽しんでいただいている方々、参加者のみなさんありがとうございました。

平成32年には東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定されたところです。ジュニアアスリートの皆さんには、これを機に、この祭典への出場を目標として一層の精進を重ねられ、ぜひ、わが町からトップアスリートとして参加されることを願っています。

今後共、ジュニアアスリートの育成はもとより、実情に即した組織力の強化を図りスポーツの振興等に努めて参りますので町民並びにスポーツを愛する皆様には、更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

年頭のご挨拶



高島町体育協会会長 菊地 秀徳

新年明けまして、おめでとうございます。皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、当協会の事業運営にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年も、町民並びにスポーツを愛する皆様からスポーツに懸ける熱い思いを寄せていただき、「第64回高島ロードレース大会」「第18回チーム対抗ロードリレー大会」「第52回全日本50km競歩高島大会」「第49回高島町総合体育大会」をはじめ各種スポーツ大会が盛大に開催され、新たな友情を育むとともに感動と勇気を呼び起こすことができました。心から感謝申し上げます。

さて、当協会は、創設65年を迎え、競技種目11団体と町スポーツ少年団本部の12団体の会員により運営し、ジュニアアスリートの育成や地域スポーツの推進などスポーツの振興と町民の健康体力づくりに取り組んでおります。とくに、小学生、中学生、高校生を中心とするジュニアアスリートの育成には、学校と連携・協調しながら、陸上競技などスポーツ教室の開催、競技指導者の派遣、優秀な成績を収めた競技団体・個人の表彰を行うなど、重点事業として強化に取り組んでおります。今年も、水泳（飛込み）、柔道、陸上競技など全国大会への参加選手が育つてきており、今後の更なる活躍が大いに期待されております。

第68回 国民体育大会

成年女子

サーブル団体:優勝
フルーレ団体:3位

10月の「スポーツ祭東京2013」においてフェンシング成年女子サーブルの県選抜で国体初優勝をかざった。同じメンバーで3位に入った前日のフルーレの成績を上回り栄冠をつかんだ。団体戦のメンバーはいずれも米沢東高出の竹田・市川(NEXUS) 荒井(日女体大)の3人。一回戦より接戦を勝ちぬき勝利のものにしました。



NEXUS
竹田 悠里

米沢東高出身
高畠町夏茂中瀬

第52回

全日本 50km 競歩大会

10/27



第52回の全日本50km競歩大会が10月27日(日)に行なわれました。今年の大会は、時折雨の降る悪コンディションの中、全国から競歩の選手が数多く集まり開催されました。競技人口がそれほど多くないため、国内外第一線で活躍する選手も出場する大会です。ここで、活躍した選手がオリンピックでそして世界陸上で活躍することもあります。翌年の大きな大会の代表決定のドラマと次の年の選手のパフォーマンスとあわせて見てはいかがでしょうか。今回も中心商店街をはじめ多くの方のご協力で実施できています大会です。選手がまた来なくなる大会運営に今後ともご理解とご協力をお願いします。

第68回 国民体育大会

少年男子800m 2位入賞



東海大山形高校3年
木伏 雄太郎
高畠四中卒

昨年3位入賞した岐阜県体の成績を上回るべく優勝を目指した東京国体。インターハイで優勝した選手と競り合い惜しくも2位。悔しさもありますが、持てる力を出し切ったという充実感もあります。高校から本格的に陸上競技を始め、指導頂いた監督、コーチ、先輩方、そして共に練習した仲間にも恵まれ今の自分があるということに感謝しています。本当に充実した3年間を送ることができました。この後、大学進学し陸上競技を続けます。新たな目標に向け、更なる上を目指します。

全国大会

飛び込み競技 優勝!



高畠町立和田小学校 5年
皆川 詩音

飛び込み競技に取り組む唯一の団体「米沢ダイビングクラブ」に所属する高畠町和田小5年生皆川詩音さん(10)が、8月3・4日に開催された大会に出場しました。大会名は浜松出身の古橋広之進さんの名にちなんで「とびうお杯少年少女大会」全国のクラブ対抗で行う日本水泳連盟公認の競技会です。予選は2位通過でしたが決勝で逆転し初の日本一に輝きました。

高畠町総合体育大会 開会式

9月23日秋分の日(運動公園野球場)において町長、教育長、議長はじめ多くのご来賓をお迎えして、開会式が行なわれました。

自由参加によるグラウンドゴルフの親睦ゲームを行い、夕方よりいも煮会でおおいに盛り上がり楽しい開会式でした。



第59回 県駅伝競争大会 南陽東置賜郡チーム 2年連続優勝を果す!

平石 哲哉

第59回山形県縦断駅伝競争大会において2日目の18区(大江朝日)を走らせていただきました。大会を振り返って当日は風が強く、自分の弱さが出たレースとなりました。結果を残すことができず、自分はまだまだ力不足なんだと実感しました。職場の方の理解があつてスタートラインに立てていることを忘れず、来年は気持ちをもう一度立て直して、リベンジしたいです。

奉仕活動



6月23日(日)朝6時より7時の1時間、スポーツ運動公園の奉仕活動を行いました。
野球場・陸上競技場・多目的グラウンドのゴミ拾いと草むしりを行いました。参加者は各スポーツ少年団・体育協会各部より約230名の参加をいただき大変きれいに成りました。参加者のみなさま、早朝よりありがとうございました。

ゴルフイベントゴルフ

平成15年4月高島町グラウンドゴルフ協会が発足して今年で10周年を迎える事になりました。発足当時は30数名の会員でしたが現在は120数名の会員と発展しました。各市町村に協会がありますが当協会は置賜3市5町の中で1番遅い設立です。当初は置賜大会へ年2回出場しても良い成績が残せず特に団体戦ではいつも最下位の8位でした。たまに良くても6位か8位の成績でしたが、ここ5年間は躍進めざましく優勝1回、準優勝1回と上位に入るまでになりました。11月7日会長杯兼10周年記念大会が実施され町長、置賜地区会長、体育協会長始め多数の来賓のご出席のもと盛大に式典及び大会を開催する事ができました。前日から心配されていた雨も降らず無事大会を終える事が出来ました。来年以降も引き続き会員の親睦と健康維持をモットーに発展させていきたいと考えております。



ソフテニス



町総体の感想

今回の大会は雨天続きのため、体育館でいつもと違ったコートの中で行なわれました。コートの中の幅はどの位で、どこまでなら下がってもボールを打てるかなどいろいろ考えながらプレーをしていかななくてはなりませんでした。いつもはあまり考えないことも考える必要があり良い経験をしました。また、ペアと一緒に協力し合い、お互いにカバーしながらプレーできました。またこれからの改善点も見つかり、今後の弾みとなる大会でした。

卓球

卓球の楽しさって？

「キレイでないっすよ」でお馴染みのものまねお笑いタレントがおりましたが、卓球の世界でも「キレイてる」「キレイでない」と表現する時があります。ご存知の通りそれは感情のことを言うのではなく、ボールの回転量のこと。そのボールは、試合となれば時速100km以上で向かってくる、加えて猛烈な回転がついて曲がる、落ちる：なかなか厄介なものです。しかし、小さい子供たちはその気ままな自由にならないうちに興味津々。今度は自分なりに研究して相手が見えづらくするようにボールに回転をつけることを覚える。とても意地悪な話である。だから卓球って陰気で地味な印象があるのかもしれないですね。

卓球の楽しさは？と聞かれたらそれは間違いなく「ラリー」でしょう。ミスせず10球、20球とラリーが続くようになるのと楽しさは倍増します。ラリーのコツは相手の打ちやすい場所へ、打ちやすい回転で適度な速さのボールを送ってあげることです。相手への思いやりでしょうか。なぜか意地悪なボールが出せるようになると、相手へ打ちやすい優しいボールも送ることができるようになる。じつに奥が深いスポーツです。



野球

審判員を募集しています！

町野球連盟では、今年も社会人軟式野球主要3大会と町総体、春と秋の中学校大会を無事開催することができました。連盟登録チームは12チームと減少しましたが、総体では町内の企業チームが会社をあげての大応援のもとで活躍を見せるなど、各大会でレベルの高い熱戦が繰り広げられました。

東北楽天イーグルスの日本一で野球熱もさらに高まっています。ぜひ多くのチームに登録していただき、他の同じ仲間と大会で戦いながら「野球の底力」を家族や友人など多くの人に見せてください。



一方、試合を掌る審判員が町だけに限らず減っています。公認の資格を取るまではいかなくとも少しでも「やってみたい」と興味のある方は、町大会でのみ審判に携っていただけの方も募っていますので、一度お気軽に町営体育館までお問い合わせください。併せて場内アナウンスも募集中!!

剣道

高島町総合体育大会剣道競技は、10月14日、高島町武道館に於いて盛大に開催されました。当日は天候にも恵まれ、大勢のご父兄方の観戦を得て、大変素晴らしい大会となりました。今年度は小学生低学年の参加者が少なく残念でしたが、小学校高学年、中学生の試合は、気魄のこもった素晴らしいレベルの高い試合を繰り返し、応援にも熱がこもっていました。又、一般の団体戦は大きな大会にも負けな素晴らしい試合となり、小学生にとっては大変勉強になる試合でした。



ソフトボール

10月6日(日)の高島町総合体育大会には、6チームの参加を得て、晴天のもと実施致しました。又、同時に行なわれた365才阿部杯も、6チームの参加を得て実施致しました。さらに今年度も、浪江大吉SSBチームが昨年、一昨年に続いて参加致しました。東日本大震災で被災したチームのメンバーが、高島町に在住している人を中心に町外各地から参集し、3年目にして浪江大吉SSBチームが、本来の実力を発揮して優勝しました。又、365才阿部杯はヤマカワチームが優勝しました。

今年度の大会は天候に恵まれ、予定通り大会を終了することができました。浪江大吉SSBチームは、3年連続の出場でありながら、未だ帰町ができない厳しい環境の中、元気に明るくプレーして頂きました。来年も来て下さいと約束をしながら、早く帰町できることを同時に願いたいと思います。

今年度の高島町ソフトボール協会は、6月2日(日)の高島町長杯から始まり、7月7日(日)体育協会長杯、8月18日(日)の歴代協会長杯、10月6日(日)の高島町総体と計4回の大会を開催致しました。ソフトボールは、近年チーム数の減少が進行していたので

すが、今年度新たに1チームの登録があり、来年度さらに1チームの登録が見込まれることから、チーム数の減少に歯止めがかかるのではないかと期待しているところですが、ソフトボールは高レベルの競技から比較的誰でも楽しめる競技まで、幅広くできるスポーツだと思っております。今後も町民の健康増進と、親睦を図ることを目的に活動して参りたいと思っております。



レスリング

レスリング部は今年度も青少年の健全育成と技術向上を目指し事業を展開してきました。

小学生の指導においては《強い選手である前に、立派な選手であれ》をモットーに掲げ「県交流大会」・「新潟、福島、山形の三県大会」・「北日本大会」の3大会に絞り、技術の向上と、二井宿小学校の児童全体の健全育成と体力向上を目指し、スポーツ教室を週2回開催しました。

特に今年度は指導者のレベル向上と子ども達の技術向上を図るために指導者及び審判の講習会も開催することができました。今後は指導者の資質を向上しながら、子ども達としっかり向き合った指導をしていきたいと考えています。

柔道



現在は13名のメンバーで週2回の稽古を実施しております。高学年が少ないため、なかなか大会では上位をとることは難しい時期が続きましたが、悔しさやバネに練習を続け、秋に行わ



れた川西ダリヤ杯では、男子団体戦で3位、男子個人4年生の部で梅津拓武が優勝と素晴らしい結果を残してくれました。チームが一体となって切磋琢磨し、大会で優勝するという明確な目標を掲げ、短い練習時間で一生懸命に稽古に励んでいます。今後も礼儀を重んじ、挑戦する心と思いやりの精神を養っていきたいと思います。

バスケットボール

わかくさスポーツ少年団創立三十周年を迎えて

早いもので昭和59年創立以来、30年を迎える運びとなりました。

ここまでこれたのも、町内外の関係者の方々や県内外のバスケットボールの関係者、そして保護者、指導者のおかげと深く感謝申し上げます。

当団は、いままで約60名の子どもたちが卒団しており、卒団後も中学、高校でも活躍し山形県を代表する選手となっている子どもたちが数多くおります。9年前、男子が県大会3冠、東北大会、全国大会出場をはたす、すばらしい活躍で「わかくさ」の歴史を輝かしいものにしてきました。

そして、先輩たちが築き上げてきた伝統を、現団員も立派に

引き継いでおります。「伸びろわかくさ 燃やせ闘魂」の団旗のもと、節目となる今年もこどもたちは、明るい笑顔で、元気にプレーしております。

これからも、「わかくさバスケット」の伝統を引き継ぎ、指導者、保護者一同、協力してこどもたちがバスケをとおして心身共に、強くたくましく成長するよう活動を続けていきますので、今後とも皆様方のご支援よろしくお願致します。



スキー

我がスキークラブは、隣県七ヶ宿スキー場をホームグラウンドとして毎年町民スキー教室を開催、大好評を得ております。また、ジュニアの育成にも力を入れ各種大会へ参加、優秀な成績を収め毎年活躍が期待されています。

さらには、クラブ員の技術向上はもとより、毎年資格取得に

努め活発な活動を展開し、現在会員数は30名を超え、寒い時期ですがスキーの素晴らしさ、楽しさを分かちあい、健康づくりを兼ねながら、クラブに入会しレベルアップそして融和を図り、ス

キー人口の普及と健全な体力づくりを目的に頑張っています。



中学生だより

高島一中

【柔道】

山形県総合体育大会

- 男子団体 第3位
- 《男子個人》
 - 優 勝 60キ口級 布施 佑晟
 - 優 勝 66キ口級 武田 光明
 - 優 勝 90キ口級 相田 輝

【柔道】

県中学校新人大会南ブロック

- 男子団体 第2位
- 《男子個人》
 - 優 勝 55キ口級 平賀 昇也
 - 第3位 73キ口級 佐藤 快
 - 第3位 81キ口級 高橋 拓海
- 《女子個人》
 - 優 勝 40キ口級 猪野 姫伽
 - 第3位 70キ口級 神保 朱季

高島一中

県中学校総合体育大会

【陸上】

- 男子走り幅跳び 第3位 佐竹 清悟 (東北大会出場)

【ソフトボール】

- ベスト8

【卓球】

県中学校新人大会南ブロック

- 団体女子 第3位
- 《個人女子》
 - 優 勝 第3位 伊藤紗弥香



高島二中

【柔道】

山形県総合体育大会

- 優 勝 60キ口級 後藤 仁 (東北大会出場)

県中学校新人大会南ブロック

- 優 勝 60キ口級 後藤 仁

高島四中

県中学校総合体育大会

【水泳】

- 50m自由形 第2位 安部 航大 (東北大会出場)
- 100m自由形 第5位 安部 航大 (東北大会出場)
- 100m平泳ぎ 第7位 松田 直也 (東北大会出場)
- 200m平泳ぎ 第7位 松田 直也 (東北大会出場)
- 男子200m 第5位 鈴木 潤哉 (東北大会出場)
- 男子走り幅跳び 第5位 齋藤 魁斗 (東北大会出場)

